

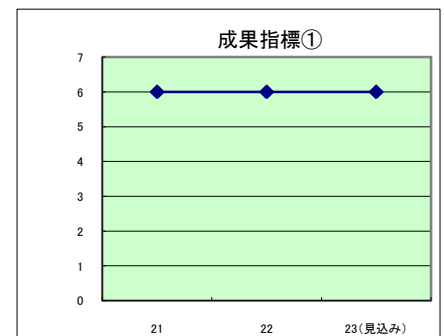
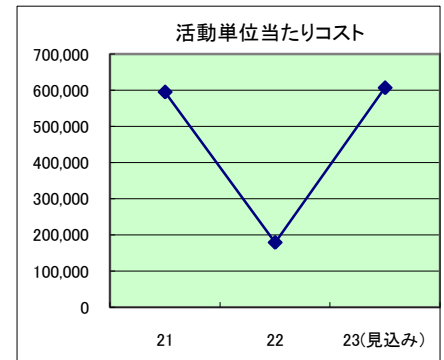
平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

整理番号

教学教09

事務事業名		中学校プラスバンド部支援事業		会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	3	次代を担う子どもを育むまち	款	10	教育費	
	施策(節)	2	学校教育	項	3	中学校費	
	施策の方向	(2)	教育環境の整備・充実	目	2	教育振興費	
	関連する計画等			事業	8	中学校プラスバンド	
作成部署				教育委員会事務局学校教育室教育総務課			
連絡先				072 - 958 - 1111 内線 4120			
事業の目的	対象(誰を・何を)			中学校プラスバンド部			
	意図(どういう状態にしたいのか)			クラブ活動の活性化を図る。			
事業の内容	中学校のプラスバンド部用楽器の修繕及び購入を行っている(楽器は隔年購入)。また、教育委員会後援で市内6中学校共同発表会を、年に一度L I Cはびきので開催している。						
	根拠法令等						
事業開始時期		☐ 昭和 5 年開始 ☐ 明確にはわからない ☒ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度		平成 年度	
事業開始時からの状況変化		平成17年度までの楽器購入は毎年度であったが、平成18年度より財政状況を考慮し隔年度に変更した。					
市民や議会の要望							
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称() ☐ 民間委託 ☐ その他		委託内容			

区 分		21年度	22年度	23年度	
		(実績)	(実績)	(見込み)	
事業費【1】 (千円)		3,047	931	3,138	
人件費【2】 (千円)		525	144	504	
職員数	正規職員	0.07 人	0.02 人	0.07 人	
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		3,572	1,075	3,642	
財源内訳	国費 (千円)				
	府費 (千円)				
	市債 (千円)				
	その他 (手数料・使用料等) (千円)				
	一般財源 (千円)	3,572	1,075	3,642	
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	21年度	22年度	23年度(見込み)
①	中学校プラスバンド部数	部	6	6	6
②					
③					
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		595,333 円	179,167 円	607,000 円	
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		30 円	9 円	31 円	



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度
	①	共同発表会出場の数 (式)	部	共同発表会に市内6校全中学校が参加する事を目標とする。	目標	6	達成率(%)		6
					実績	6	100.0%		
	②	プラスバンド部員数 (式)	人	一定規模の部員(全生徒数の概ね1割)の在籍を活動の活性化の目安とする。	目標	300	達成率(%)		300
					実績	349	119.3%		

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	学校教育活動の一環として、教育的効果も高く、今後も活動の活性化を図る上で関与が必要である。

視点	分析のためのチェック点			はい			いいえ			該当なし			分析・評価の説明		
妥当性	市民ニーズが高い			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	クラブ活動は情操教育や団体活動を学び、子供達の成長過程において糧となる。特にブラスバンド部の活動は盛んで部員数が80人を超す学校もあり、練習は土・日曜日も行っている。このような状況下からも本事業の必要性・妥当性は十分認められる。		
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
	社会情勢の変化に対応している			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
	国・府の事業と重複していない			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
	緊急性が認められる			☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒			
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	平成18年度にブラスバンド楽器購入を隔年度に変更するなど、必要最低限度の経費で事業を行っている。		
	受益者負担の割合は適当である			☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒			
	人員を削減する余地がない			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
	事業費を削減する余地がない			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
	簡略化できる方法や手段がない			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
	市の他事業と重複していない			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない			☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒			
有効性	上位の施策(目的)が明確である			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	部活動の活性化を行うことで、豊かな情操教育の形成に寄与している。		
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
	成果を向上させる余地がない			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
	市民の視点にたってサービスが提供されている			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	ブラスバンド部顧問の教師や取りまとめの教頭先生と常に連携を取り、業務を遂行している。		
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
達成度	成果指標の目標値は適正である			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	すべての市立中学校のブラスバンド部が大会に参加している。		
	成果指標の実績値は目標値以上である			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			
	成果指標は前年度より向上している			☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐			

担当部局評価	総合評価														
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了														
	評価の理由														
	本事業を通じてブラスバンド部のクラブ活動の活性化が図られている。														
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 当面はこの取組みを継続する。また、隔年度に変更した楽器購入の影響を観察していく。														
行本部評価	総合評価										評価理由・意見				
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了														